

2012年4月9日

学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープランの策定方針 (案)

日本学術会議
学術の大型研究計画検討分科会

1. 基本方針

- (1) 学術的観点から、我が国の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン（以下本計画）の立案を行い、当該分野の発展に資する。
- (2) 本計画の立案にあたっては、21期計画を十分活用しつつ、分野別委員会等を通じて、学協会等研究者コミュニティとの連携を積極的に図る。
- (3) 本計画の立案を通じて、学術会議の本来の独自性を保ちつつ、国の科学技術計画の策定に対して適切に貢献すること。
- (4) 22期の本計画（日本語版）は、2014年3月までに完成し、4月の総会で報告する。

2. 今後の進め方

下記の点について十分検討を進めた後、本計画策定プロセスを決定する。

- ① 21期の本計画のレビュー
- ② 海外の関連計画の策定状況の調査（他機関の協力を得る）
- ③ 本計画に期待する効果の明確化：国、研究者コミュニティ、国民
- ④ 学協会や諸研究機関との連携のあり方
- ⑤ 関係省庁（文科省、経産省、総務省、厚労省等）との連携のあり方
- ⑥ 計画の総数、分野のバランス等に関する基本的考え方
- ⑦ その他

3. 計画策定に向けた工程

2012年6月	方針および決定プロセス案等の検討
2012年7-8月	各部の夏期部会で議論
2012年11月	方針および決定プロセス案の決定
2012年12月	調査（募集）、選考開始
2014年1月	計画案の策定
2014年2月	科学委員会・幹事会の審議、必要があればパブコメ
2014年4月	総会へ報告